



データの力を 活用する

Management Science Associates は Hadoop プラットフォームを Cisco® インフラストラクチャでのビッグデータ分析に使用して、洞察情報に基づいた的確な意思決定を促進しています。

「当社には人材とデータが揃っていました。今は予測的分析を拡張するための技術があります」

- Management Science Associate 情報管理ソリューション部門、情報テクノロジー担当副社長 Karl Herleman 氏

データ ボリュームの増加は、インフラストラクチャ需要の拡大を意味します。これらの両方が共に拡大しない場合、コストが上昇し、業績や成長に遅れが生じる可能性があります。

課題

- ・ データ需要を管理するために拡張性とパフォーマンスを向上させる。
- ・ 顧客がデータ主導型の意思決定で収益を上げられるよう支援する。
- ・ インフラストラクチャ コストを管理する。

Management Science Associates (MSA) はデータ主導型の企業です。情報管理ソリューション (IMS) 部門は社内最大の部門で、消費財商品産業の製造業者およびディストリビュータにデータ主導型の洞察情報を提供しています。この部門のビッグデータ分析サービスでは、概略的な消費者購入行動や心理分析から、品目およびショップ レベルでの製品移動実績まで幅広いトピックに関する情報を顧客に提供します。

MSA の IMS 部門情報テクノロジー担当副社長である Karl Herleman 氏は次のように述べています。「データをほぼリアルタイムで関連付け、分析し、それらを使ってお客様にとって次に何が重要であるかを予測することができます。現在の競争の激しい環境では、先週のトレンドのリアビュー分析はもはや使い物になりません」。

顧客から取得している構造化データと非構造化データの複数の膨大なセットをより簡単にコスト効率の高い方法で統合するために、MSA は自社のビッグデータおよび分析インフラストラクチャの拡張性とパフォーマンスを向上させる必要がありました。

ケース スタディ | Management Science Associates

規模: 従業員 800 人

所在地: ペンシルバニア州ピッツバーグ

業種: 情報技術



シスコが提供する高性能で拡張性が高い効率的なインフラストラクチャを利用して、より深い詳細な分析を実現しています。

ソリューション

- ・ MapR Apache Hadoop ディストリビューション プラットフォームでのビッグデータ分析に適した新しい強力なプラットフォームを構築。
- ・ Cisco Unified Computing System™ (Cisco UCS®) を基盤となるインフラストラクチャとして使用。

可視性の向上による迅速なアクセスとコスト削減

Cisco UCS で MapR Hadoop ディストリビューション プラットフォームを実行すると、大きなデータ ボリュームへの迅速なアクセスとコストの管理を同時に実現できます。

MSA の情報テクノロジー システムおよびサービス (ITSS) 部門の上級情報システム マネージャーである Corey Grone 氏は次のように述べています。「当社のレガシー環境では、最大容量を想定して計画を立てていたためコストがかさんでいました。現在は実際の容量使用量を視覚化しているので、購入を効率的に計画し、顧客に消費量に応じた金額を請求できるようになりました」。



優れた拡張性、迅速な導入

顧客のデータ ボリュームに対処するために、IMS 部門のサーバ環境を今後 1 年間で 2 倍にする予定です。

「Cisco UCS システムの拡張性により、俊敏性と柔軟性が向上し、市場に投入するまでの時間を短縮できます」と Herleman は述べています。

結果の予測による、不測の事態の軽減

インセンティブ プログラムを実行している製造業の顧客は、ビジネス成果をより正確かつ迅速に予測し、結果を最適化するために必要なアクションを指示できるようになりました。これにより、ダイナミックな市場で報酬を支払ったり予算を管理したりする時期に不測の事態が生じることが少なくなります。

パートナー間の戦略的な連携

MSA が Hadoop 向け MapR ディストリビューション プラットフォームを選択したときに、基盤となるインフラストラクチャを提供するのに最適なパートナーとしてシスコが選ばれました。

「シスコと MapR が互いに同じ方向に向かっていくことは把握していました。シスコと MapR は戦略的に連携し、当社のビジネスとも連携しています」 (Herleman 氏)。



自動化による容易な管理

Cisco UCS の管理の自動化機能によって、MSA はサーバを数時間または数日ではなく数分でスピン アップできます。これらの機能により、MSA では個々のサーバを手動で維持する必要もなくなりました。サービス プロファイルでは、人員を追加することなく、ファームウェアのアップグレード時間が 16 時間から 2 時間に短縮されました。

導入の効果

- ・ 毎日ほぼリアルタイムに提供される顧客レポートで意思決定を迅速化。
- ・ 8 つのノードの 1 TB のデータを 16 分以下で分類可能。
- ・ サーバのプロビジョニング時間を 6 時間から 2 時間に短縮。

ビジネス全体にもたらされるドミノ効果

今後 1 年間でデータセンターの容量を 2 倍以上に増やす計画を進める中で、他の部門にも波及効果が表れることが予想されます。

「Cisco UCS の Hadoop プラットフォームは私達の部門に変革をもたらしました。ビジネスのあらゆる面で、この技術を真剣に検討しています」(Herleman 氏)。

製品 & サービス

データセンター

- ・ Cisco UCS C240 M4 ラック サーバ

ルーティング/スイッチング

- ・ Cisco Nexus[®] 7000、5000、および 2000 シリーズ スイッチ

ファブリック インターコネクト

- ・ Cisco UCS 6248UP 48 ポート
ファブリック インターコネクト

ネットワーク管理

- ・ Cisco UCS Manager

データベース

- ・ MapR Apache Hadoop

©2016 Cisco Systems, Inc. All rights reserved.

Cisco、Cisco Systems、およびCisco Systemsロゴは、Cisco Systems, Inc.またはその関連会社の米国およびその他の一定の国における登録商標または商標です。

本書類またはウェブサイトに掲載されているその他の商標はそれぞれの権利者の財産です。

「パートナー」または「partner」という用語の使用は Cisco と他社との間のパートナーシップ関係を意味するものではありません。(1602R)

この資料の記載内容は2016年2月現在のものです。

この資料に記載された仕様は予告なく変更する場合があります。



シスコシステムズ合同会社

〒107 - 6227 東京都港区赤坂9-7-1 ミッドタウン・タワー

<http://www.cisco.com/jp>

お問い合わせ先